瀬戸市テニス協会
会報 STK
Setosi Tennis Kyokai since 1973
2019年6月号 No. 136

←協会ロゴ＆エンブレム
2016年7月制定。前協会員・加藤隆久氏の力作。「ボール・ラケット・汗」を3モチーフに中央にボール、紡錘形はラケットと汗を表徴。「ボール追って、流そう爽やかな汗！」。1973は協会創立年。半世紀近い歴史。

時の顔

2人目9秒台！
男子100m、サニブラウン・ハキーム（東京都出身20歳・フロリダ大）が9秒999でV。桐生に次ぐ2人目の9秒台。ガーナ人の父・日本人の母。188センチ、83キロ。

「ai場所」V奪還

団体戦 強力布陣で「BEARS 1」に完勝

クラブ職場対抗団体戦は5月12日（日）、市民公園で開催。男子（複2単1）は、穴のない布陣の「a·iのある場所」が難関の同僚対決を2−1で制し、決勝は「BEARS 1」に快勝して2年ぶり2度目の優勝。女子（複2）は初出場の「ウィル」が強力な2ペアで「juego」の2連覇を阻み、決勝も「丸新」に2−1で競り勝って初優勝を遂げた。（2面へつづく）

同僚対決を制し一気

男子準決勝。「BEARS1」対「FUN TIME」と「a·i場所」対「ロング」。「BEARS1」は2−0で快勝して決勝へ。

前年、「BRIO·3」に敗れて連覇を逃した「a·i場所」は2戦目に最難関「a·i場所Ⅱ」と同僚対決。2−1で辛勝。準決勝は「ロング」を2−0で下して決勝進出。

決勝は3戦同時開始。「a·i場所」が複で連勝し優勝を決めた。接戦の単に大声援を送り、競り勝って3−0の完勝。

女子 「ウィル」が初制覇

「丸新」に辛勝

女子は「ウィル」が初戦を快勝。V候補「juego」との2回戦。1勝1敗からパートナーを替えての7点先取マッチタイブレを奪って4強入り。

準決勝は「ANAKEY」を2−0で下し、「丸新」との決勝はマッチタイブレにもつれ込んだが、7−2で取って初出場・初優勝の快挙。

団体戦男子、2度目優勝の「aiのある場所」（前列）と準優勝の「BEARS 1」（後列）

女子初Vの「ウィル」（前列）と準Vの「丸新」（後列）

［クラブ職場団体戦成績］

男子優勝＝aiのある場所（山上　剛、岩瀬英之、和﨑省伍、鍋谷勇介、伊神好将、片岡芳彦、水谷一人）
準優勝＝BEARS 1（寺澤良平、井口卓哉、吉田尚史、坪井優弥、時岡貢平、河村隆一）
第3位＝FUN TIME（加藤　渡、根崎涼介、伏見裕也、中山慎一、小島大典）
ロング・ロング・ロング（石川　均、磯村和信、奥村慎二、小椋　等、富樫良二、下林直人、嶋　利男）

女子優勝＝ウィル（安藤美奈、寺本　舞、西堀和恵、今井智登）
準優勝＝丸新（中野久美子、磯村千沙子、寺田ひとみ、河合利江）
第3位＝ANAKEY（中橋侑佳、入江　愛、竹山桂子、渡部菜奈美）
BEARS（加藤千里、安田美菜、福島菜摘、竹田晶子）

団体戦3位

女子本戦3位の「ANAKEY」（前列）と「BEARS」（後列）

団体戦男子本戦3位の「FUN TIME」（前列）と「ロング・ロング・ロング」（後列）

コンソレ男子は「メドウス」V

＜コンソレ成績＞

［男子］
優　勝＝メドウステニスガーデン
準優勝＝よっしゃ！！40-30
第3位＝TeamBlueMauntains
　　エアレスクラブ

［女子］
優　勝＝juego
準優勝＝UP2
第3位＝UP1
　　ロング・ロング・ロング2

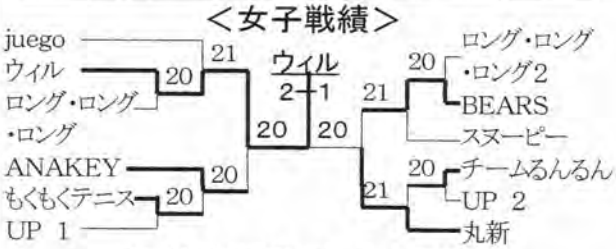
実力足りず…ベストメンバーそろわず…くじ運最悪――など。初戦敗退チームは無念の「裏街道」回り。Bコート〈移動〉。コンソレ男子。本戦でいきなり「ai場所」と当たって1－2で惜敗した「メドウス」が進撃。決勝で「よっしゃ！！40－30」に競り勝って優勝。本戦Vと同じ副賞獲得に笑顔。3位は「TBM」。「エアレス」は3決を棄権。

女子は本戦2連覇をめざした「juego」が初戦でスーパーサイア女子「ウィル」に1勝1敗後のマッチタイブレを落とし、まさかの「裏街道」。本戦連覇はならなかったが、さすがに強く、余裕の戦いで3戦完勝。コンソレVで面目を保った。3決は「UP 1」が「ロング 2」を下した。

＜団体戦 男子戦績＞

［3決］FUN TIME 2－1 ロング・ロング・ロング

＜女子戦績＞



［3決］ANAKEY 2－0 BEARS

コンソレ男子優勝の「メドウステニスガーデン」（前列）と準優勝の「よっしゃ！！40－30」（後列）

コンソレ女子優勝で溜飲を下げ、お決まりポーズの「juego」（前列）と準Vの「UP2」（後列）

［団体戦 近年の優勝チーム］

［年］	［男子］	［女子］
2010	愛牧2 2部＝K5	丸新1
2011	1部なし 2部＝BRIO・A	丸新1 2部＝ロング・ロング・ロング
2012	ロング・ロング・ロング 2部＝東郷製作所	サンクラブ 2部＝MATC
2013	YTC	サンクラブ
2014	テニス協会	MATCひまわり
2015	スラりん	ねこだんご
2016	MATC	JUEGO
2017	aiのある場所	丸新
2018	BRIO・3	JUEGO
2019	aiのある場所	ウィル

13年から1部制

クイズ3Q

Q1：今春季大会参加ペア数は総計何組？
Q2：瀬戸地方高校生大会女子の部を初制覇した高校は？
Q3：さあ全仏。男女単で本戦ストレートインの5人は誰？

「名城百歳庭球トーナメント」で懸命にプレーする選手

名城百歳ダブルス 156組熱戦

名古屋ローンテニス倶楽部主催「第69回・名城百歳トーナメント」が5月3日、北区の名城庭球場で開かれた。数え年計100以上の複。女性は10歳加算の統合戦。東海3県を中心に元プロから初心者まで20～85歳の156組が熱戦をを展開。

協会員頑張った

◆名古屋グリーン月例レディース4月杯GⅡ＝1位リーグ①志水綾子・嶺井純子②三嶋美咲・大池利恵③玉樹美香・山本千佳▽2位同①稲垣千絵子・大橋靖子②水谷瑞希・川崎彰子③広瀬里美・太田奈津

◆同GⅣ＝1位T①諏訪律江・長江光子②光岡由美・武村明子③池田真知子・富山訓子

◆テニスネットワーク富浜・混複＝①佐藤久義・沖胡美紀②冨田一行・伴野弥生

◆津島若鳩杯男子複団体＝1位T①日本代表（川崎・和崎・中村・佐藤）②コーディネーター（吉川・岩田・大野・前川）

◆同MIX＝1位T①今井健太・佐藤夕子②小林雄太・川口綾▽2位T①前原雅大・井戸田嘉奈子②成田祐己・市川恵

◆旭スプリングビクトリー＝OPクラス①石塚千鳥・平岩幸子②広瀬理子・土屋美雪

◇会員番号は瀬戸市テニス協会ホームページに掲載。

大会など日程

★第70回 市民大会テニス

5月26日(日)午前9時～午後7時・市民公園A・B(午前7時から使用可)と南ケ丘で。一般男子単・複、女子複、混複、シニア(60歳以上男子＋50歳以上女子の統合戦)単、高校男女複。瀬戸市在住・在勤者に限る(協会員も市外者は出場不可)。参加無料。受付終了。予備日＝6月2日(日)。

◆当日午前8時から体育館で総合開会式。役員・会員多数出席願います。

★指導者講習会

6月1日・8日の土曜2回。市民公園Aで午後5時～7時。外部コーチを招く。引き続き午後9時まで自由練習会。対象は教室指導者などに限らず、協会員の参加歓迎。勿論無料。受付なし・当日現地集合。予備日＝6月15日(土)。

★第25回ミックスダブルス大会

6月23日(日)市民公園で午前8時20分～午後7時(午前7時から使用可)。時差集合。瀬戸市内在住・在勤または協会員。混合複。先着64組募集。参加費＝1組2,000円(協会員は無料)。受付＝5月15日～6月5日。予備日＝6月30日(日)。5月15日付け広報掲載。

★第29回 瀬戸地方高校新人戦

7月27日(土)、29日(月)の両日、市民公園A・Bで午前7時～午後5時。瀬戸市と近郊高校1、2年生男女の単複。参加費＝1人800円。予備日＝7月30日(火)。学校関係者に直接案内。

★ナイターテニス教室

8月3日、10日、17日、24日の土曜4回。市民公園Aで午後6時～9時のナイター。瀬戸市内在住・在勤・在学または協会員。先着60人募集。参加費＝1人4,500円。受付＝7月3日～31日。予備日＝8月31日(土)、9月7日(土)。7月1日付け広報掲載。

第30回 瀬戸市選手権

9月1日(日)、市民公園A・Bで午前8時20分～午後7時。時差集合。コートは午前7時から使用可。先着男子64人・女子32人。シングルスのみ。参加費＝1人1,000円(協会員も有料)。受付＝8月1日～14日。予備日＝9月8日(日)。8月1日付け広報掲載。

旭戦は11月17日(日)

旭・晴丘で午前9時から

会費振り込み先

会費の振り込みは次の口座へ。

◆瀬戸信用金庫(新設) 店名＝山口支店 店番＝044 普通貯金口座番号＝0852209 瀬戸市テニス協会 会長・稲垣将樹

◆ゆうちょ銀行 店名＝二〇八 店番＝208 普通貯金口座番号＝1411190 瀬戸市テニス協会

基礎～実戦ダブルスへ

「レディース教室」後半…いい汗

4月3日(水)スタートした第21回「レディース教室」が5月中旬、後半に入っている。

市民公園Aで毎週水曜午前9時から11時の各2時間・全8回。5月末までのロングラン。

初心・初級の5人が腕を磨き、いい汗をかいている。「誰でも最初は初心者」。カラ振り、フレームショット連発から段々芯に当たるようになってきた人、初めからかなり打てる人、要領をつかみかけている人…と色々。

コートのライン名称、グリップ、スタンス、打球コースの基礎知識から開始。基本技のストローク、ボレー、スマッシュ、サーブの練習を経て、これらの反復・連続、組み合わせ。バックボレーやサーブの難しさに悩みながらもボールがつながるようになれば楽しい。次は「ゲームをやってみよう」の段階。陣形、連係から、ポーチ、チェンジ、サイドケアなどダブルス特有のプレーに挑む。実戦の中でセルフジャッジ、カウントなども熱心に学んでいる。

4～6月の「レディース教室」で腕を磨く受講者。右端は受講・水藤さんのダミーで、この日、特別コーチの協会員・岩間氏)

ナイター練習会

(いずれも市民公園Aで)

[月 日]	[時間]	[面数]
5月15日(水)	19時～21時	3個面
22日(水)	19時～21時	3個面
6月 5日(水)	19時～21時	3個面
12日(水)	19時～21時	3個面
19日(水)	19時～21時	3個面
26日(水)	19時～21時	3個面
7月 3日(水)	19時～21時	3個面
10日(水)	19時～21時	3個面
17日(水)	19時～21時	3個面
24日(水)	19時～21時	3個面
8月 7日(水)	19時～21時	3個面
14日(水)	19時～21時	3個面
21日(水)	19時～21時	3個面
28日(水)	19時～21時	3個面

春季教室終わる

3月3日(日)に始まった「春季テニス教室」は3月17日、閉講した。この教室は日曜3回、市民公園Aの2個面で毎回午前9時から午後1時までの各4時間・計12時間の講習。

今回受講は男女8人。男子はいずれもリピーター。第2回の10日は雨のため時間短縮。

基礎から実戦までを学び、最終回はダブルスゲーム。随所にナイスショット、好カバー、好連係。練習成果を発揮していた。

ルール(旧・審判)講習会

南が丘コートで
6月16日(日)午前9時～午後1時
10月20日(日)午前9時～午後1時

市民公園

直ったよB・10番

市民公園B・10番コートの凹凸修理が3月末に行われた。昨年総会での指摘を受け、協会が市に修繕を要望していた。

10番コートの北側センターライン付近は複数の大きな凹凸が目立ち、サーブや打球が「ボコッ！」と急に沈むイレギュラーがひどかった。

この日の修理は、該当箇所の人工芝をはがして下の地面を整え、四角くパッチワーク風にオムニを張り直した。

また、10番コートサイドの支柱が傾き、倒れかけて危険な金網フェンスは以前から修理が望まれていたが、同時に新しく建て替えられた。

コート南側のフェンスの破れ目は、観衆の悪戯によるものらしく、管理の係員の話では全ての穴を塞ぐまでには手が回らないという。

(写真は、金網フェンス㊫と北側エリア中央部の凹凸が修理された市民公園B・10番コートでプレーする利用者＝3月末)

小林組 初V

村井・河元組に快勝

女子 安藤・西尾組が初制覇

男子1部初優勝の岩瀬・小林組（前左）、準優勝の村井・河元組（前右）、第3位の原田・中筋組（後左）と髙木・髙木組（後右）

春季大会は4月21日、市民公園で5部門に計113ペアが熱戦。ハイレベルの男子1部は岩瀬英之・小林雄太組（a・iのある場所）が初優勝。激戦の女子1部は安藤美奈・西尾舞組（ウィル瀬戸）が初制覇。男子2部は下林直人・横山昌平組（楽しいが一番）、壮年は長江茂幸・中西輝組（BRIO）が優勝。女子2部は加藤千里・梅田真智子組（BEARS）が悲願のV。

男子2部Vの下林・横山組（前左）、準Vの佐藤・高田組（前右）、3位の梅村・丹羽組（後左）と稲場・川崎組（後右）

男子2部 下林・横山組 即1部へ

男子1部は地力十分の岩瀬・小林組が力強いショットで5戦をいずれも失ゲーム3以下に抑えて初優勝。小林は小学生時代から海外派遣経験者。名古屋高から法政大卒。大垣共銀勤務。決勝戦の相手・村井も「デラ強かった」と舌を巻いた。観衆は「打球音が違う。すごい」と驚嘆の声。

3決は髙木父子が棄権。

◇

男子2部も激戦。巧者・下林と機敏な横山がコンビばっちりで進撃。決勝で佐藤・高田組を6－4で下して初出場で優勝。両ペアは1部（昇格）。

3決は梅村・丹羽組が稲葉・川崎組に6－1で圧勝。

◇

男子壮年（50歳以上）は初戦をタイブレ突破した同士の決勝。長江・中西組が福島・加藤組を下して初V。

3決は渋谷・近藤組が快勝。

女子2部優勝の加藤・梅田（前左）、準Vの水野・市来（前右）、3位の富川・中村（後右）と小崎・金光（後左）

＜春季大会 成績＞

『音が違う。デラ強え』

◇男子1部（参加34組）

優　勝＝岩瀬英之・小林雄太（aiのある場所）

準優勝＝村井清隆・河元優弥（ロング・ロング・ロング）

第3位＝原田敦也・中筋孝臣（aiのある場所）

髙木亘紀・髙木　順（テニス協会）

巧者・下林が本領

◇男子2部（28組）

優　勝＝下林直人・横山昌平（楽しいが一番）

準優勝＝佐藤昌弘・高田武資（フリー）

第3位＝梅村和久・丹羽滋巳（MATC）

稲葉　巧・川崎正礼（ロング・juego）

◇男子壮年（9組）

優　勝＝長江茂幸・中西　輝（BRIO）

準優勝＝福島浩平・加藤　勤（TeamBlueMountains）

第3位＝渋谷尚紀・近藤峰夫（遊YOU）

森田　寛・稲垣将樹（アサヒセト）

「池・井戸」V3ならず

◇女子1部（32組）

優　勝＝安藤美奈・西尾　舞（ウィル瀬戸）

準優勝＝河合美穂・川口　綾（ARP）

第3位＝池本麻里絵・井戸田嘉奈子（juejo）

大島美香・犬飼陽子（ロング・ロング・ロング）

加藤「卒業、長かった～」

◇女子2部（10組）

優　勝＝加藤千里・梅田真智子（BEARS）

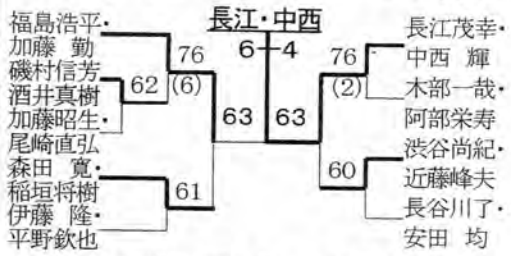
準優勝＝水野直美・市来浩美（フリー）

第3位＝富川　慶・中村智絵（BEARS）

壮年男子優勝の長江・中西組（前左）、準優勝の福島・加藤組（前右）、3位の渋谷・近藤組（後右）と森田・稲垣組（後左）

＜男子壮年 戦績＞

初戦タイブレ辛勝同士 対決



［3決］渋谷・近藤 6－2 森田・稲垣

春季大会 男子1部

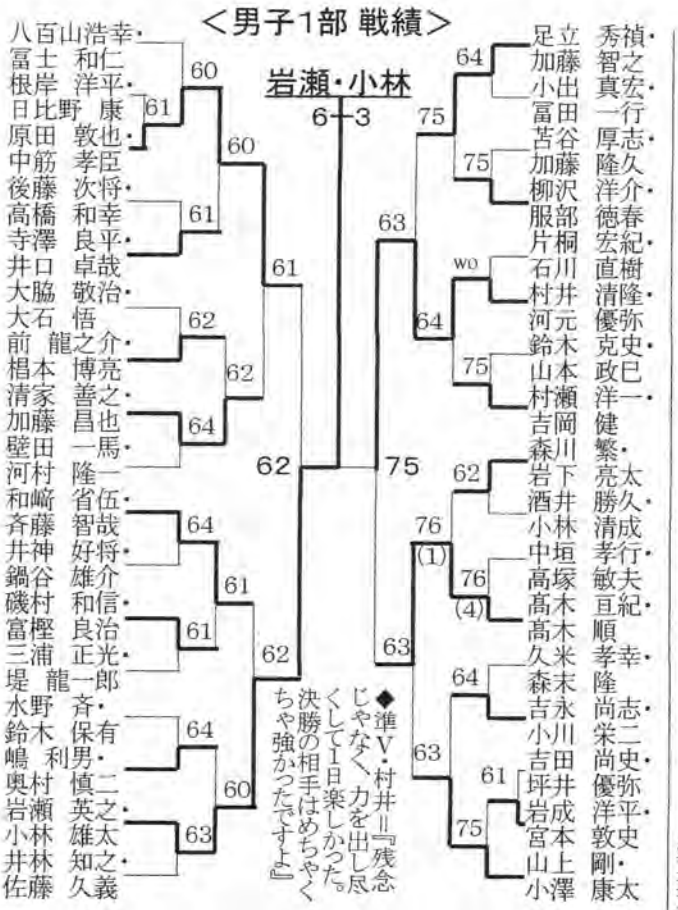
岩瀬・

女子1部を初制覇した安藤・西尾組（前右）、準優勝の河合・川口組（前左）、3位の池本・井戸田組（後右）と大島・犬飼組（後左）

快進撃…河合・川口組を下す

強豪ぞろいの女子1部。安藤・西尾組が粘り強く戦い、圧倒的スコアで決勝進出。河合・川口組はV3を狙う池本・井戸田に準決勝タイブレ辛勝。決勝は安藤・西尾組が6−3で制して初優勝。3決は池本・井戸田が大島・犬飼を下した。

＜男子1部 戦績＞

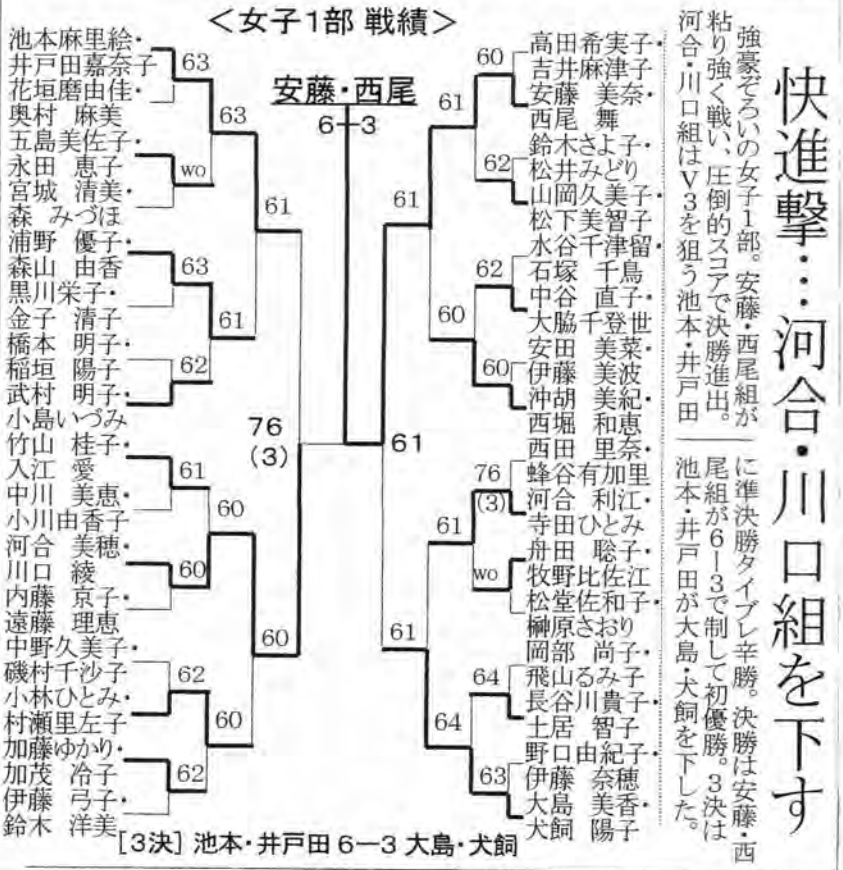


［3決］原田・中筋 棄権 髙木亘・髙木順

＜男子2部 戦績＞

［3決］梅村・丹羽 6−1 稲葉・川崎

＜女子1部 戦績＞



［3決］池本・井戸田 6−3 大島・犬飼

＜女子2部 戦績＞

おめでとう 卒業V

［3決］富川・中村 4−3 Ret 小崎・金光

女子2部は加藤千里・梅田真智子組が初戦タイブレで辛勝。決勝は水野・市来組を6−2で下して優勝。1部昇格を果たした。このところ3位続きだった加藤は「やっと卒業です。長かった〜」と笑顔。1部挑戦へ闘志新た。

◆2部決勝ペアは1部へ

男女とも2部決勝進出の2ペアは1部（昇格。パートナーを替えても3年間は2部へは出場できません。60歳以上には適用されない。

［春季大会1部 近年のVペア］

［年］	［男子］	［女子］
08	紀平裕介・水野 斉	髙木淳子・松原由布子
09	久米孝幸・喜多健一郎	髙木淳子・小笠原まり子
10	大橋了輔・根本大地	木部文恵・堀出尚子
11	加藤智之・伊左治孝紀	嶺井純子・志水綾子
12	八百山浩幸・冨士和仁	大石千春・河合利江
13	大橋了輔・安宅博徳	柴山千沙子・中野久美子
14	髙木 順・髙木亘紀	小境陽子・古橋葉月
15	森田将文・村松祐次	小境陽子・古橋葉月
16	岩下亮太・森川 繁	森山由香・浦野優子
17	小出真弘・冨田一行	井戸田嘉奈子・池本麻里絵
18	和崎省伍・中村 恒	池本麻里絵・井戸田嘉奈子
19	岩瀬英之・小林雄太	安藤美奈・西尾 舞

女子・瀬戸Aが初優勝

男子は同僚対決 瀬戸西A連覇

単2勝作戦 ズバリ的中

18年度最終戦・第34回瀬戸地方高校生大会は3月22・23日、市民公園で開催。男子5校21チーム、女子6校20チームが参加。複1・単2の団体戦。男子は瀬戸西Aが同僚対決で1年生チーム「B」を下して連覇。女子は前年準Vの瀬戸Aが2年生・後藤、牧田の活躍で聖霊A、Bを連破して初優勝。

瀬戸西3チーム4強

男子は瀬戸西勢3チームが4強入り。2年生主体の「A」が準決勝で栄徳Aに3－0で快勝して決勝進出。瀬戸西Bは下克上、先輩チーム「C」に完勝し、本命「A」に挑戦。決勝は「A」が「B」を2－1で下して2連覇を達成。

聖霊勢倒し悲願達成

女子は後藤、牧田を擁する瀬戸Aが悲願達成。初戦で長久手Cに3－0で完勝して波に乗った。「たとえ複を落としても単2勝で逆転」の戦略。旭野B、前年Vの聖霊Aをともに2－1で下して2年連続決勝進出。聖霊Bは準決勝で瀬戸西Aに快勝して決勝へ。

対決は瀬戸Aが2－1で聖霊Bに競り勝ち、昨年の無念を晴らして初優勝。

3決は連覇を逃した聖霊Aが瀬戸西Aに快勝。女子はコンソレも行なった。

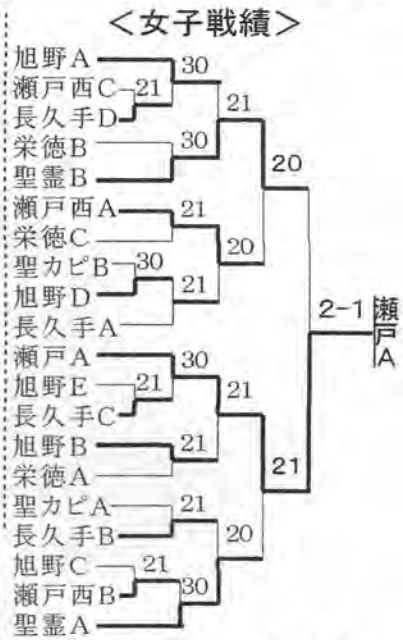
3決の栄徳A－瀬戸西Cは1－1での単が大接戦。タイブレに入っても6－6。栄徳Aが強サーブと思い切りのよいショットで瀬戸西Cの粘りを8－6で振り切った。

←右列から栄徳A、2連覇の瀬戸西A、瀬戸西B、瀬戸西C

瀬戸地方 高校生大会成績

[男子]	[女子]
優　勝＝瀬戸西A（村上真太郎、森亘平、藤澤和冴、田中秀麿、竹中真那斗）	優　勝＝瀬戸A（後藤海希、牧田真夕、金嶋伸空、西村理沙）
準優勝＝瀬戸西B	準優勝＝聖霊B
第3位＝栄徳A、瀬戸西C	第3位＝聖霊A、瀬戸西A

[3決] 栄徳A 2－1 瀬戸西C



[3決] 聖霊A 2－0 瀬戸西A

準決勝で聖霊A、決勝で聖霊Bを倒してうれしい初優勝を遂げた瀬戸Aの後藤、牧田、金嶋、西村の4選手

近年の優勝・準優勝

	[男子V]	[準V]	[女子V]	[準V]
2010	瀬戸西A	瀬戸西C	聖霊A	旭野A
2011	栄徳A	瀬戸西C	聖霊A	長久手A
2012	瀬戸西A	瀬戸A	聖霊A	旭野A
2013	長久手A	栄徳A	旭野A	聖霊A
2014	栄徳A	長久手A	旭野A	聖霊A
2015	栄徳A	長久手A	栄徳A	旭野A
2016	瀬戸西A	栄徳A	栄徳A	長久手A
2017	栄徳A	瀬戸西A	聖霊A	栄徳A
2018	瀬戸西A	栄徳B	旭野A	瀬戸A
2019	瀬戸西A	瀬戸西B	瀬戸A	聖霊B

全国高校選抜大会

影山（市邨）が男子単優勝

全国高校選抜大会（3月28日まで・福岡・博多の森）、男子単で名経大市邨の影山太星が決勝進出。四日市工・大田に6－2、6－1で快勝、優勝した。

影山は2回戦8－3、3回戦8－6で突破。準々決勝は2－1途中相手棄権で4強入り。準決勝は田中（神奈川・湘南工大付）にストレート勝ち。決勝も完勝し、団体戦8強止まりの無念を晴らした。大矢祥生（名古屋）は1回戦6－8で惜敗。

女子単の高橋有優（愛知啓成）は2回戦3－8で、三上琴音（椙山女学園）は3回戦5－8で敗退した。

団体・椙山 決勝進めず

啓成下し、相生に敗退

女子団体は準々決勝で椙山女学園と愛知啓成が愛知勢対決。椙山が3－2で競り勝って4強入り。準決勝で相生学院（兵庫）に0－3で敗れ、決勝進出はならなかった。

椙山は柳川（福岡）、京都外大西をともに4－1、聖和学園（宮城）を3－1で下して準々決勝進出。

啓成は初戦・鳳凰（鹿児島）に3－2、西京（山口）に3－0、松商学園（長野）に3－1で勝って8強入りしていた。もったいない同士討ちだった。

男子・市邨は4強ならず

男子団体は名経大市邨が光泉（滋賀）、立命館慶祥（北海道）をいずれも4－1、松商学園（長野）に3－0で快勝して8強入りしたが、準々決勝で湘南工大付（神奈川）に1－3で敗れた。

名古屋は東陵（宮城）に4－1、岩手に5－0で完勝したが、3回戦で慶応（神奈川）に1－3で屈した。

男子は神奈川勢が壁となった。

フェド杯 日本チーム
土居 美咲(ミキハウス)
日比野菜緒(ブラス)
奈良 くるみ(安藤証券)
青山 修子(近藤乳業)
穂積 絵莉(日本住宅ローン)
(大坂は辞退)

日本 WG2部残留
フェド杯 オランダに完勝

女子国別対抗戦・フェド杯ワールドグループ(WG)2部入れ替え戦(4月20・21日、大阪市)で日本はオランダに4勝0敗で完勝、WG2部残留(16強)を決めた。

初日の単第1試合で104位・土居が176位・ホベンカンプを6－3、6－4で下し、112位・日比野＝写真＝も149位・スフーフスに6－1、6－2で完勝。フェド杯3度目出場の日比野は「一番いいプレーができた。伸びしろを見出したネットプレー〈持ち込む色々なショットも試し、上手くいったのは大きな成果」と会心の笑み。日本が初日連勝で早くも王手。

翌日の単で土居がスフーフスに6－3、6－2で快勝。一気の3連勝で2部残留を決めた。

第4試合・日比野の単は行われず、複の青山・穂積組も6－3、3－6後のマッチタイブレを10－6で制し日本4勝0敗。

パリバ
女王・大坂 8強ならず
錦織、若手に連敗

BNPパリバ(3月17日まで・米)、2連覇をめざした第1シード・大坂は初戦2回戦でドバイで敗れたムラデノビッチ(仏)に6－3、6－4で雪辱。3回戦でコリンズ(米)に6－4、6－2で快勝したが4回戦で第23シードのベンチッチ(スイス・21歳)に3－6、1－6で完敗、8強入りならず＝写真＝。2位で第2シードのハレプも敗れたため世界1位は維持。

土居美咲は2回戦で第5シード・プリスコバ(チェコ)に7－6、1－6、1－6で逆転負け。

◇

男子第6シードの錦織は初戦2回戦でマナリノ(仏)を6－4、4－6、7－6で退けたが3回戦で196ｾﾝ・22歳のフルカチュ(ポーランド)に6－4、4－6、3－6で逆転負けし、2連敗。

西岡棄権 8強を逃す

西岡が健闘。2回戦で第21シード・バウティスタ(スペイン)を7－6、6－4で倒し3回戦もオジェアリアシム(カナダ)に6－7、6－4、7－6で逆転辛勝。4回戦、ケツマノビッチ(セルビア)に4－6後の第2セット、背中・腰を傷め途中棄権、8強ならず。

大坂、新コーチに冗談も 関係良好か

ジェンキンス新コーチとの初陣、強打の大坂が打ち負けた。ベンチッチとの4回戦、新コーチを2度呼び、助言を求めた。劣勢の中、大坂は「私のテニス人生へようこそ」と冗談を飛ばし、良好な関係をうかがわせた。

ベンチッチ戦はサーブが不調。1stが入らず2ndを狙い打たれて攻め込まれた。ストロークでもコート内側に踏み込まれ、先に仕掛けられて受けに回る場面が目立った。

4大大会2連勝、世界1位となって戻ってきたこの大会、同じ97年生まれの実力者に敗れた。

試合後の会見では「ベストは尽くしたし後悔はない。相手がすばらしかった」と同輩を称えた。

圭「守備にやられた」

錦織は67位・長身の22歳・フルカチェに持ち味の競り合いでの強さを消され2連敗。「体格の割には守備もうまい。守りにやられた」と肩を落とした。

球足の遅いハードコート。錦織のサーブや速いショットもリーチのある選手には届いてしまう。第2セット以降は相手にペースを握られ、逆転を許した。

マイアミ
大坂3回戦敗退 錦織は初戦負け

マイアミ・OP(3月31日まで・米)、女子第1シードの大坂は初戦2回戦で141位・ウィックマイヤー(ベルギー)を6－0、6－7、6－1で下したが3回戦で第27シードの謝(台湾)に6－4、6－7、3－6で逆転負け。大坂は、あと2ポイントでストレート勝ち目前にダブルフォルト。結局タイブレに持ち込まれて失い、最終セットも謝の緩急をつけた技巧にリズムを狂わされミス連発。第1セットを取っての連勝は「63」でストップ。

大坂の姉・まり(WC)は1回戦でアシグウェ(米)に、日比野はムホバ(チェコ)にともにストレート負け。土居は初戦を突破したが2回戦でベルツォグ(スロベニア)に6－7、4－6で敗れた。

変調「競ったら強い圭」

男子単第5シードの錦織は初戦の2回戦で44位・ラヨビッチ(セルビア)に6－2、2－6、3－6で逆転負け。ダニエル太郎は1回戦でルブレフ(ロシア)に6－3、3－6、4－6の逆転負け。

土の「モンテカルロ」
錦織また初戦で

錦織は今季クレー初戦のマスターズ・モンテカルロ(モナコ)第5シード。前年は準優勝。このところ接戦に弱い錦織。初戦の2回戦(4月17日)で49位・エルベール(仏)に5－7、4－6で敗れた。「コントロールミスを修正すれば調子は戻る」と前向き。

フォニーニ(伊)が準決勝でナダルに完勝。決勝もラヨビッチ(セルビア)を6－3、6－4で下し、マスターズ初V、ツアー9勝目。

錦織、決勝進出逃す
バルセロナ メドベジェフに競り負け

準決勝、失点にしゃがみ込む錦織

バルセロナOP(4月28日まで)は錦織相性のいい大会。過去2度優勝・16年準優勝。今回第4シードだったが、準決勝で14位・第7シードのメドベジェフ(ロシア)に4－6、6－3、5－7で競り負け、決勝進出を逃した。

初戦の2回戦で58位・フリッツ(米)を7－5、6－2。3回戦で第16シード・オジエアリアシムに6－1、6－3で快勝し8強。準々決勝は104位のカルバリェスバエナ(スペイン)を6－4、7－5で下した。

準決勝、過去2勝1敗の長身198ｾﾝ・メドベジェフとの最終セット、5－6からサービスゲームを失った。71位・ダニエルは1回戦で61位・マクドナルド(米)に2－6、2－6の完敗。

複の錦織・シュオーツマン組は1回戦、マッチタイブレで惜敗。

3Qの答え
A1：113組(募集120)
A2：瀬戸高校A
A3：男子＝錦織、西岡、ダニエル太郎
女子＝大坂、土居

独 ポルシェ・GP
大坂 腹筋痛、準決勝を棄権

女子のポルシェ・グランプリ(独)で第1シードの大坂は4強入りしたが、左腹筋痛が悪化。第8シード・コンタベイト(エストニア)との準決勝を棄権した。

大坂は今季初のクレー戦。初戦2回戦で24位・苦手の謝(台湾)を6－4、6－3。3回戦は25位・ベキッチ(クロアチア)に最終セット1－5から逆転、7－5で取って準決勝進出していた。

全仏単予選免除 日本勢5人

全仏単予選免除の日本勢は男子の錦織・西岡・ダニエル、女子の大坂・土居の計5人。

ファイナル、21年からトリノで

男子年間8強戦「ツアー・ファイナル」の21～25年の開催地にトリノが決定。候補の東京、ロンドン、シンガポール、英マンチェスターは落選。

車いすジャパンOP
国枝優勝 上地準V

車いす・ジャパンオープン決勝(4月28日・飯塚)で男子1位・国枝(ユニクロ)が5位・ウデ(仏)に7－6、7－5で辛勝、4年ぶり9度目のV。女子は2位・上地(三井住友銀行)が1位・デフロート(オランダ)に3－6、6－7で敗れ7連覇ならず。

大坂8強・錦織16強止まり

マドリード

ハレプV逸で1位維持

全仏前のマドリード・オープン（5月12日まで）女子第1シードの大坂は過去1勝1敗・パリバで完敗したベンチッチ（18位・スイス）と準々決勝。6－3、2－6からの最終セット、5－4から3ゲームを連取され5－7で敗退＝写真＝。2位・ハレプが優勝を逃したため1位はキープ。

大坂は初戦チブルコバ（スロバキア）を6－2、7－6。2回戦75位・ソリベストルモ（スペイン）に7－6、3－6、6－0。3回戦は33位・サスノビッチ（ベラルーシ）に6－2、6－3で快勝し8強入りしたが、「弱気の虫」再発で自滅。

古豪・バブリンカに屈す

男子7位で第6シードの錦織は初戦2回戦で予選上がり109位のデリエン（ボリビア）に苦戦。7－5、7－5で辛勝。8強をかけた3回戦で34位・ベテランのブリンカ（スイス）に3－6、6－7で敗れた。全仏へやや不安。

決勝はチチパス（9位・20歳・ギリシャ）を6－3、6－4で下してジョコVッチ（31歳）。3年ぶり3度目V、マスターズ33勝は最多タイ。ツアー74勝目。

複の錦織・デルポトロ組は初戦をマッチタイブレ10－4で突破したが、2回戦でマリー兄・ソアレス組に6－7、2－6で敗退。

◆『大坂はヨネックス』＝大坂のジュニア時代、スポンサー探しに苦労した母・環さん。ヨネックスの米田社長宛に支援直訴の手紙。米田氏は同封のなおみのビデオを見て用具援助を快諾。大坂は大躍進、売り上げ増に十分な貢献…恩返しした今もヨネックスを握る。

◆バインが仏女子指導＝ドバイ選手権で大坂を破ったラデノビッチ（仏・60位台）がサーシャ・バインに指導を仰ぐと表明。

イチロー引退

45歳 プロ28年 日米4367安打

さらば51　開幕戦連勝、観衆に手を振るイチロー（3月21日・東京ドーム）

日本で9年・大リーグ19年のプロ野球生活、イチローがバットを置いた。引退会見冒頭は「（50歳までが）有言不実行になった」と。試合後のイチローコールに「あんな場面を見せられたら後悔があろうはずがない」と晴れやか。

日米4367本など金字塔にも「記録に大して意味はない。誇れるとしたら、試合に出られない1年間も練習を続けたこと」という。今後について「監督は無理だよ。人望ないもん」と敬遠気味。

国民栄誉賞は3度目お断り。マリナーズで会長直属インストラクターに。打撃・守備・走塁を指導。初仕事は打撃投手。

◆鈴木一朗＝愛知県豊山町出身・愛工大名電卒。92年ドラフト4位でオリックス入団。94年から7年連続首位打者。渡米。マリナーズで首位打者・新人王・MVP。10年連続200安打。ヤンキース～マーリンズ移籍。18年マリナーズ復帰。日米生涯打率3割2分2厘。

「2億円払え」大坂、訴えられる

ジュニア時代の大坂まり・なおみ姉妹を2011年から指導したフロリダの米コーチが「大坂の獲得賞金の20％を払え」と提訴。請求額は2億2200万円。

当時、コーチ料が支払われず、父親・フランソワ氏と交わした「将来、プロでの賞金の20％を受け取る」との「出世払い契約書」を証拠提出。大坂側の弁護士は、「なおみが見たこともない契約書。バカげた要求」と、「宝くじが当たると親戚が増える」の類としているが、さて判決は？

藤井君2年連続勝率1位

45勝8敗 8割4分9厘

プロ棋士・藤井聡太七段（瀬戸市川北町・16歳）は昨期最終局・竜王戦予選で中田宏樹八段を下し、45勝8敗。勝率8割4分9厘で2年連続最高勝率に輝いた（3月27日）。歴代3位の高率。勝数は2位。

「1年間、自分なりに戦えた。1局1局の積み重ねで昨期の勝率（8割3分5厘）を超えられてうれしい」と総括。

昨期末の将棋大勝では「妙手・鬼手」の升田賞を獲得。竜王戦予選・右田五段戦終盤、読み切った飛車のタダ捨てが「衝撃の1手」と評価された。8大タイトル戦では棋聖戦予選決勝で久保九段に惜敗し本戦入りならず。竜王戦は決勝トーナメント進出（あと1勝。今期4連勝（写真・5月9日）と好調。

「詰将棋王」は5連覇

プロアマ約100人が3会場で挑む第16回「詰将棋選手権」で藤井君が12歳時以降の5連覇（3月末）。前後半各5問90分。最長39手詰めの超難問。前半ミスで3番手。後半5問で逆転。2位は連覇経験のある斎藤王座。藤井君の「望外の結果。今後も参加したい」との談話に周囲の棋士、はや諦め顔。

「瀬戸将棋まつり」5月25・26日 文化センター

賞品を手に「遊YOUカップダブルス」表彰式

遊YOUカップダブルス

16人が熱戦

ハマダスポーツ企画の教室「遊YOUテニス」は第19回ダブルス大会を開催（3月20日・北コート）。受講19中16人が出場。混複と女複でV賞品の「カップみそ」をめざして熱戦。

協会協賛の教室で6年目。初中級を中心に毎週水曜午後、練習を積んでいる。1期10回で定員20人。毎期最終回は、正しいセルフジャッジ、ルール＆マナーも重視した大会。各人超短期決戦の4試合を楽しみ、カップ麺、カップジャムなどの賞品を手に18年度第4期修了。

改元・褒章・新紙幣・国賓…

政権浮揚にゃ何でも使う

170億円かけた「令和祭り」で内閣支持率9％上昇とか。「ピンチには焦点外し」は常套手段、何でも使う。公文書改竄、統計不正、「安倍・麻生道路」の忖度副大臣に「桜田問題外の変」…自殺者も出した「モリカケ」は頬かむりで「喉元過ぎれば」「人の噂も」作戦。沖縄「辺野古」は強権ムキ出し。F35墜落…人命と100億円喪失。改元行事に170億円…税金の使い方おかしくない？

アングルショット

○…団体戦、男子「a1のある場所」、女子「ウィル」は強かった。春季大会、1部は男女とも年々ハイレベルに。男子決勝は隣コートの女子陣が「打球音がすごい」と驚嘆。高校生大会、女子・瀬戸高校が悲願の初制覇。

○…大坂、脇腹痛大丈夫か？錦織も年末で30歳。懸命のトップ10維持。全仏頑張れ。「ツアーファイナル」出場をめざす。

○…マラソン・小出監督死去。「岐阜清流ハーフ」で喪章のQちゃん「笑顔を空の監督に届けて」と挨拶。葬儀の弔辞は涙をこらえて最後の感謝の手紙。

（業務理事・会報係　近藤）

STKニュース

次号は「混複大会」後

瀬戸市テニス協会業務部が発行の会報。原則隔月。1975年（昭和50年）創刊。98年から定期刊行。第10号まで梶田俊幸・元理事が制作。2000年・第11号から理事・近藤峰夫が編集と郵送。毎号随時、協会ホームページに掲載。